



# 8月

# 彩花新聞

Monthly SAIKA Newspaper

# 194号

2023年8月1日

## 暑中お見舞い申し上げます

梅雨が明け厳しい暑さがやってきました、いかがお過ごしでしょうか？  
 日頃からのお引き立てに心より感謝申し上げます。お客さまに支えられ、  
 彩花のスタッフは「お客様に喜んで頂こう」「お役に立ちたい」という強い  
 思いで仕事をさせて頂いています。いくら時代が変化してデジタルの時代になっ  
 ても、人と人との関係のアナログを忘れてはいけないと思っています。  
 このことを忘れずアナログとデジタルを取り入れた経営を  
 これからも目指していきます。  
 時節柄、なお一層のご自愛のほどお祈り申し上げます。



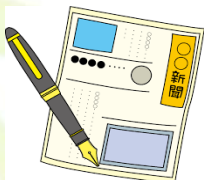
## 喜んで頂けることに挑戦

彩花はエアコンクリーニングキャンペーン中で毎日忙しくしています。最近、お掃除機能付きが出回っていて、複雑な構造になって分解清掃が難しくなっています。機能なしのエアコン清掃は女性スタッフもできる人がいます。しかし、機能付きは難しく壁にぶつかっています。ユーチューブなどで勉強をしたり、男性スタッフに同行して教えてもらい覚えています。結果、難しい機能つきはまだですが簡単なのは少しずつ出来るようになりました、会社から「覚えて下さい」と女性スタッフに言っているわけではありません。  
 お客様のお役に立ちたいという気持ちからの行動だと思えます。この行動にはビックリしています。その気持ちがお客さまの信用に繋がっているのではないのでしょうか。  
 お客さまで作業に女性スタッフを希望される方がいらっしゃって「女性スタッフさんがきてくれるなら親戚や友達に紹介したい」と言われるお客さまもおられ、紹介も頂いています。  
 このように女性が活躍できる職場を目指して、これからも頑張っていきたいと思えます。



## 彩花新聞からの繋がり

彩花新聞を毎月150枚ほど手渡ししています。待って頂いているお客様もいて、沢山の愛読者が増えています。お客様であるクリニックに院長先生・クリニック内・受付の方と3枚届けています。受付の方は凄く彩花新聞のファンで、この新聞を自宅の階段に貼っていて「子供達も見ています」とのことです。本当に嬉しく思います。  
 また、掃除に入った後訪問すると、気づいたことを言っていたら凄く勉強になっています。  
 そして、今回193号を持って行くと「今月クリニックの掃除ではないですか？」と言われました。「4月に入っていたので7月ではないですか？」と言われるのです。会社に戻り、調べてみると7月が予定でした。これにはびっくりです・・・お客さまのほうがお掃除の日程を把握して頂いているのです。早速、予定を入れさせていただきました。このように、彩花新聞を通じてお掃除の管理もしていただき一石二鳥と有り難いことです。しかし、地道な訪問がこれだけの関係を作り上げていることに感慨深いものがあります。  
 これからも訪問を継続して色々なことを学びさらなる関係を深めて行きたいと思えます。



## お客様アンケート

クリーン彩花ではお掃除終了後、お客様にアンケートをお願いしています。  
 お客様より嬉しいお声を頂きましたのでご紹介します。

・ご依頼頂いた清掃：エアコン（通常型、お掃除機能付き）  
 ・お客様の満足度：★★★★★  
 ・お客様の声：きちんとした挨拶から始まり、礼儀正しく、作業の工程をはじめに説明して頂き、安心してお任せできました。こちらからの質問にも的確な対応でした。また来年もお願いしたいと思っています。

・ご依頼頂いた清掃：エアコン（通常型、お掃除機能付き）  
 ・お客様の満足度：★★★★★  
 ・お客様の声：今回、彩花さんをお願いしてよかったです！来ていただいた方の話し方が穏やかで、安心してお願いできました。作業はもちろん無駄がなく綺麗で丁寧で、しかも短時間でとても感激しました。この夏、気持ちよくエアコンが使えます、ありがとうございました！

・ご依頼頂いた清掃：エアコン（お掃除機能付き）  
 ・お客様の満足度：★★★★★  
 ・お客様の声：毎年エアコンの掃除をしていただいて早10年になります。きめ細やかな対応と、年々スキルアップしていく正確な手際の良さにいつも感動しております。

# 縁側

## ■まあ、ちょっとお茶でも

現代の地域社会でなくなったものに「縁側」があります。

かつては縁側にちょこんと座り、他愛もないやりとりや世間ばなしの花が咲いたものでした。それはご近所さんとの大切な人間交流の場でした。

この縁側、人間関係や信頼関係を結ぶという点で、いろんなヒントをつかめそうに思います。縁側は日本独特の建築様式です。田舎の家にはまだ結構残っています。

室内と庭を結ぶようにしつらえられ、内も外もなく、  
上も下もないところで、何気ない会話が繰り広げられる光景は、  
何とも微笑ましいものでした。「ちょっとお茶でも飲んでいかなね」  
「じゃ、一杯だけもらおうかね」というやりとりから始まる  
のどかな光景です。



## ■縁側の誕生

現代では近所づきあいが希薄になり、年寄りにはデイサービスなど外のサービスに頼ることが増えたこと等があって、残念ながらかつての縁側はほぼ絶滅状態です。

けれども、生きづらいことが増えた現代だからこそ、暮らしや地域のいろんな場面で縁側の知恵を復活・再生していくことが必要なように思います。

そんなことを考えると、クリーン彩花におけるお客様とスタッフとの現場での会話やお喋りを通じた関係性の広がり、まさに縁側的な場の誕生を思わせます。

最近、お客様アンケートにこんな書き込みがありました。「子どもが〇〇さんに書いたお手紙をいまでも持っていてくださっており、そのお心遣いが嬉しくて・・・」「作業中も笑顔で、話題を作って話しをされて和やかな雰囲気でした」。

お掃除でお邪魔する先さきで和やかな“おしゃべり”の場が生まれ、縁側ができて、「お茶でもひとつどうぞ」「ありがとうございます」「また来てくださいね」という気持ちの流れが自然にできているように思います。

相手の気持ちに寄り添いながら、互いにこころを通わせ合い、結ばれた“縁”が“次”への期待を運ぶ――。

## ■縁側タイムを楽しむ

暮らしの現場にお邪魔する掃除の仕事は、見方を変えると、行く先々で小さな縁側を生む仕事でもあると言えます。会社とお客様、する方とされる方という二元論を超え、その間でホッとする関係性（縁側）がお掃除の現場で増えれば、社会全体に和らぎと楽しさと安心が広がっていくのだと思います。

これこそが、ぬくもりのある“おもてなし”の実践です。注文を機械的にこなすだけでなく、お客様と縁側タイムを楽しむ心の余裕をもちたいですね。  
めざせ、縁側カンパニー！（らく）

